

げんだいにほんごぶんぽうめいかい
現代日本語文法明解

现代日语 语法明解

(日) 黒羽栄司 著 成同社 陈雪 译

外语教学与研究出版社

熟能生巧：练习（11）	140
3. 使役句	141
4. 使役被动句	142
5. 被动的使役态	142
解说（10）「書かせられる」和「書かされる」	143
第四节 常用句型（「慣用表現」）	145
熟能生巧：练习（12）	148
第五节 现代日语语体	150
1. 普通话（「共通語」）和日常会话	150
2. 会话音便	151
3. 报道语体	154
解说（11）「雨が降る予想」与连体表现	157

第五章 日语的句式（「文型」）

第一节 句式和动词	160
1. 对动词的再考察	160
2. 动词补语	168
熟能生巧：练习（13）	169
第二节 基本句式	171

熟能生巧：练习参考答案	174
五十音表	179
后记	182

不论是长音、促音还是拨音，在发音上最重要的一点就是“和其他音的发音时间长短一样”。日语与其他语言相比，语言本身的音的高低强弱并不明显，因此听起来显得非常平坦，这是由于所有单音的发音时间都相同的缘故。长音、促音以及拨音和其他音具有相同的长短，例如「おや」和「おと」的发音时长为2拍，而「おおや」和「おっと」则必须发足3拍。

6. 声调

与发音有“四声”的汉语及讲究强弱重音的英语不同，日语的声调讲究“高低”。不过日语词汇的声调高低根据地区不同而各不相同，特别是东京地区和大阪地区的声调几乎完全相反。比如将「はし」的「は」发成高音，那么在东京是指“筷子”，在大阪话里则表示“桥”，如果把「し」发成高音，意思则正好相反。

对于这一点，那些努力按照东京声调教外国人日语的日语教师们应该是最有感受的。

不过，即便是东京声调也并不严格，如今就连第一个音和第二个音的发音要有高低之分这一重要原则也已日渐松动，因此学习者在学习日语的声调时没必要过于紧张。这一点也可以说是日语不难学的又一个主要原因吧。

以上是对日语语音的一个概述，但还有几点需要补充说明。

在46个基本语音中，有两个音是一字多音，即「は (ha)」和「へ (he)」。前者还可发成“wa”，后者的另一个发音为“e”，但这两个发音都是作为助词使用时才出现。“wa”和“e”一般写成「わ」和「え」，但作为助词使用时必须写成「は」和「へ」。

另外，在46个基本文字符号中，发音相同的只有一组，即「お」和「を」。「を」的发音原为“wo”，但在今天两者都发成“o”。作为助词，用文字符号表示该音时一定要使用「を」。

在浊音里面，「じ」和「ぢ」各自分别书写，但发音相同。同样，拗音中的「じゃ、じゅ、じょ」和「ぢゃ、ぢゅ、ぢょ」虽在文字书写上有区别，但发音也一样。

除去以上列举的各种例外情况，日语基本是1字1音，不像英语字母那样一字多音。不过有许多日语汉字具有多个读音，其原因一是因为在漫长的历史过程中汉语自身的发音出现了变化，二是由于这些汉字也采用了具有相同意义的和语词的发音。

是接续词。但「雨が降っている。しかし寒くはない」中的「しかし」并没有任何前接成份，其功能是修饰身后的「寒くはない」，所以应称其为“副词”。

(10) 感叹词

结构上独立于句子之外，表达说话人感情的词称“感叹词”。

(11) 陈述词*

结束句子的词称“陈述词”。

※ 陈述词可以纳入助动词的范畴，但助动词的作用是对动词的一种功能性补助，而陈述词的主要作用是结束句子。而且助动词原则上具有活用（词尾变化），陈述词则多数没有活用。

4 句子结构（「文の成分」）

所谓句子结构是指句子构成的各个部分。

(1) 主语部分（「主部」）

表示句子主题的部分称“主语部分”，以体言为中心构成。

(2) 谓语部分（「述部」）

就句子的主题进行陈述的部分称“谓语部分”，以用言为中心构成。

(3) 修饰语（「修飾語」）

修饰体言、用言及句子的词称“修饰语”，包括形容词、副词和感叹词等。

(4) 连接语（「連結語」）

连接词、短语和从句的词称“连接语”，包括助词、助动词、接续词和陈述词等。

※ 修饰语和连接语不属于独立成分，多包含在主语部分和谓语部分中，与下面将要提到的主语、谓语等分属不同的领域。

5 句子成分（「文の要素」）

所谓句子成分是指那些决定句子类型的各种成分。

(1) 主语

表示句子中心语（「主題」）的词称“主语”，名词和代词可以

27. 沈滞 (ちんたい) 景氣 (けいき)
28. 秘密 (ひみつ) 隱れ家 (かくが)
29. あやふや () 政策 (せいさく)
30. 不穩 (ふおん) 空氣 (くうき)
31. 爆発 (ばくはつ) 人氣 (にんき)
32. 對抗 (たいこう) 勢力 (せいりよく)
33. 結構 (けつこう) 贈り物 (おくもの)
34. 優雅 (ゆうが) 生活 (せいかつ)
35. 先行 (せんこう) 思惑 (おもわく)
36. 共同 (きょうどう) 目標 (もくひょう)
37. 散乱 (さんらん) 破片 (はへん)
38. さまざま () 作品 (さくひん)
39. 不断 (ふだん) 努力 (どりよく)
40. 問題 (もんだい) 人物 (じんぶつ)
41. せっかく () 好意 (こうい)
42. 不可解 (ふかかい) 行動 (こうどう)
43. とりどり () 服装 (ふくそう)
44. 自然 (しぜん) 発達 (はったつ)
45. 当然 (とうぜん) 成り行き (なゆき)
46. 乾燥 (かんそう) 大地 (だいち)
47. 有力 (ゆうりよく) 候補者 (こうほしゃ)
48. 物騒 (ぶつそう) 話 (はなし)
49. 実用 (じつよう) 知識 (ちしき)
50. 直面 (ちよくめん) 困難 (こんなん)

- 例：①彼はピアノを弾いて、私は歌を歌いました。
 ②時間があれば、買い物ができます。
 ③猫はいますが、犬はいません。
 ④先生は忙しいので、私が来ました。

※「て」接连用形之后；「ば」接假定形之后。

10 陈述词

在句子结尾表示对听话人态度的附加词称“陈述词”。最具有代表性的陈述词是对听话人表示敬意的「です」和「ます」。原则上句子以名词、代词和形容词结句时使用「です」，如例①；以动词结句时使用「ます」，如例②和例③。

- 例：①明日は休みです。
 ②学生はみな集まりました。
 ③飛行機はいつ飛びますか。
 ④食事の前に歯をみがきなさいよ。

除此之外，陈述词还可以表示肯定、否定、同感、主张、疑问（例③）、命令（例④）、请求、禁止等。另外，一些陈述词在记叙文（书面语）和会话文（口头语）中要区别使用。

陈述词可看作是助动词的一种，但两者并不相同。其根本区别在于：助动词的关联对象是动词，而陈述词的关联对象是句子；另外助动词原则上都有词尾变化，而陈述词则包含了许多没有词尾变化的词（将在第二章第二节的第7小节“陈述词的活用”部分详细论述）。

—— 第二节 —— 活用

在日语语法中用言的词尾变化称“活用”，形容词、动词和助动词（包含陈述词）具有活用。除此之外本书将代词等其他词的词

- ③部屋は静かなのに落ち着かないんです。(接续)
 ④いつもは静かだけど、今日は騒がしいね。(接续)
 ⑤年をとったら故郷で静かに暮らしたい。(连用)
 ⑥この街は決して静かではありません。(否定)
 ⑦ゆうべはみんな静かだったようです。(过去)
 ⑧夜が静かならこの部屋でも眠れますよ。(假定)

解说(1) 何为活用?

日语的“活用”和通常所说的“词尾变化”并没有必要明确区分，例如日语动词并不像英语那样通过词尾变化构成现在形和过去形，它是为了和助动词等其他词语相连接才使词尾发生变化的。

不过，日语中的「こちら、そちら、あちら」等指示代词的变化与英语动词随主语变化而变的现象相似。

总之，每一种语言的“词尾变化”都只适合某一个词类并且具有一定的规律性，否则不能视之为语法规则。日语“活用”的一个重要规律就是词尾变化总是在各自分属的“行”里发生。

然而用这个观点分析日语的形容词，会发现其活用非常不合理。

如前所述，以往的语法将“な形容词”称为“形容动词”，认为「だろ、だっ、だ、な、なら」等是其词尾变化。其实这些并不能称为“词尾”，因为「だ」是助动词，「な、なら」是助词，所以并不是在某一个词类中发生的词尾变化。若要说“な形容词”存在规律性变化，那也只是通过把助词「な」变成「に」而使之转化为副词而已。

“い形容词”也是如此。一般认为“い形容词”有「く、い、い、けれ」4个活用，但实际上可以称词尾变化的只有「い」变「く」转为副词这一点而已。

如「美しければ、美しかった」等，似乎是在カ行发生变化，其实正如「美しくあれば⇒美しかれば⇒美しければ」「美しくあった⇒美しかった」所示，起副词作用的形容词词尾「く」无一例外地原封保留，发生活用的其实是后续的动词「あり」。

只不过在现代日语中形容词连接「あり」时出现了发音上的变化，掩盖了「あり」的活用，让人看起来像是形容词本身在发生活

代日语中这一切已经越来越不适用，因此本书作了如下分类：

【动词活用表】

活用形	一类	二类	三类		功能
			カ变	サ变	
原形	書く	見る	くる	する	终止、连体
未然形	書かない	見ない	こない	しない	否定、被动 尊敬、可能
连用形	書きます 書いて	見ます 見て	きます きて	します して	连用、て形 过去
假定形 (命令)	書けば 書け	見れば	くれば	すれば	假定、可能
意志形 (命令)	書こう	見よう 見ろ	こよう こい	しよう しろ	意志、未来

※ 未然形也被称为“否定形”或“ない形”。

※ 连用形的两个形态，一个称“ます形”，一个称“て形”，如「書きます」「書いて」（表示过去的「書いた」也被称为“た形”）。

(1) 一类动词

- 例：①弟は毎日、日記を書く。(终止)
 ②机の上に教授の悪口を書くやつがいる。(连体)
 ③彼は手紙を書かないつもりです。(否定)
 ④新聞に名前を書かれると困るのです。(被动)
 ⑤先生はよく毛筆で書かれるのです。(尊敬)
 ⑥このペンはよく書かれる。(可能)
 ⑦書類はだれかに書かせるといいでしょう。(使役)
 ⑧私は毎年、年賀状を書きます。(连用、ます形)
 ⑨夫は最後に日付を書き、筆をおいた。(中顿)
 ⑩ここに電話番号を書いてください。(て形)
 ⑪父は還暦の記念に色紙を書いた。(过去)
 ⑫上手に書けば賞がもらえますよ。(假定、条件)

- ⑬そんなに早く書けるわけがない。(可能)
 ⑭だまって私の言うとおりに書け。(命令)
 ⑮それではすぐに私が申請書を書こう。(意志)

※ 在以往的语法中、可能形被认为源于动词未然形，但例句⑬中的「書かれる」并非标准形态，更多使用的是像例句⑬里的「書ける」这种形式，即“エ段”变化（请参照第四章第二节的第1小节）。有的辞书把「書ける」视为“可能动词”而不是「書く」的可能形，但笔者认为并没有这种分类的必要。

(2) 二类动词

- 例：①疲れたとき、私はいつも空を見る。(终止)
 ②彼は夢を見る人のように呆然としていた。(连体)
 ③井戸の中の蛙は大海を見ない。(否定)
 ④この作品はどうやら盗作と見られる。(被动)
 ⑤その映画を見られるおつもりですか。(尊敬)
 ⑥この動物園ではパンダが見られると思う。(可能)
 ⑦私が面倒を見ますから大丈夫です。(连用、ます形)
 ⑧まず右を見、それから左を見るのです。(中顿)
 ⑨誰が来るか、窓から見ていなさい。(て形)
 ⑩そのとき私たちは地獄を見た。(过去)
 ⑪一度見ればすぐわかりますよ。(假定、条件)
 ⑫そんなに面白い人なら私も会って見よう。(意志)
 ⑬顔をあげてしっかり相手を見ろ。(命令)

按照语法的观点，例句④的「見られる」才是二类动词可能形的正确说法，但现在有许多人用一类动词的「エる」形式，说「見れる」。这种说法已经作为所谓的「ら抜きことば（ら音脱落语）」逐渐固定下来。

在以往的语法中，二类动词的词干和词尾的区别很模糊。为此本书将变为「る、れ、ろ」的部分定义为二类动词的词尾。也就是说二类动词只有在表示原形、假定和命令时才有词尾变化，在表示否定、连用和意志的时候没有词尾变化。

(3) 三类动词

- くる：①旅立ちの日を思うと胸が熱くなってくる。(终止)
 ②湖は北の国から来る渡り鳥でいっぱいだ。(连体)
 ③今朝は新聞が来ないようです。(否定)
 ④いきなり来られるのも困るでしょう。(被动)
 ⑤知事は来週こちらへ来られるんです。(尊敬)
 ⑥車はないけど、バスでも来られると思う。(可能)
 ⑦タクシーは十時半に来ますよ。(连用、ます形)
 ⑧会社に来てみるとドアが開いていたんだ。(て形)
 ⑨明日は休みなので店には鍵をかけて来た。(过去)
 ⑩食堂で何か食べて来ればいい。(假定、条件)
 ⑪彼らが何をしているのか見て来よう。(意志)
 ⑫夏が来ようというのに、雪が残っている。(未来)
 ⑬やつらに気づかれないように探って来い。(命令)
 ⑭この車なら日帰りで戻って来れると思う。(可能)

※ 例句⑥中的「来られる (可能形)」也可采用「ら抜きことば (ら音脱落语)」的形式，即例句⑭的「来れる」。

- する：①彼の行動に不審な点はなかったものとする。(终止)
 ②あぶなく遅刻をするところだった。(连体)
 ③何もしないでいるのも退屈だね。(否定)
 ④若いうちにちやほやされるのはどうかな。(被动)
 ⑤あの方はだれからも尊敬されるのです。(尊敬)
 ⑥こんな店では食事されるわけがないよ。(可能)
 ⑦明日の朝早く出発します。(连用、ます形)
 ⑧食事の後始末をし、服を着替えた。(中顿)
 ⑨私達は二次会を遠慮して、先に帰りました。(て形)
 ⑩夜おそく、次の日の仕事の下準備をした。(过去)
 ⑪どうすれば気が済むんですか。(假定、条件)
 ⑫そのことはまたあとで相談しよう。(意志、未来)
 ⑬それで文句があるならしたいようにしろ。(命令)

※ 「愛する、勉強する」等由「する」前接动词性名词构成的合

— 第三节 —

句子的成分

一个句子具有什么样的结构是由主语、谓语、补语、宾语和客语这五大成分的组合来决定的，而对它们加以区别的是句中的助词。这些助词是识别句子成分的语法符号，并非是它们的附属物。但为了方便识别在此也将助词一并提出。

1 主语

例：①彼はアメリカ人です。
②夜は私はコーヒーは飲みません。

主语是句子的中心所在，提示主语的助词是「は」。不过「は」的原功能（「原機能」）即基本功能是对词语进行限定与强调，在这个意义上它是一种可以取代其他多数助词或与其他助词复合的词，因此有时可以在一个句子中使用两个以上的「は」，如例句②。也正因为如此，不能单纯地把由「は」提示的词都定义为主语，正确的说法应该是，主语是谓语部分陈述的对象，由助词「は」提示。

2 谓主语

例：①雨がまだ降っています。（谓语句）
②雨はまだ降っています。

日语主语既可以用「は」来提示，又可以用「が」来提示，这种使用上的区别对外国人而言很难理解，甚至日本人自身也很难解释清楚两者间的区别。但如果引入“谓语句”和“谓主语”的概念，这个问题就会变得很容易。

如例句①所示，有些句子并没有需要由「は」提示的词。这种句子一般有下列几种情况：主语省略；不需要主语；难以将主语作为主题。换句话说，这种句子只陈述谓语部分，因此称其为“谓语句”。在“谓语句”中充当主语的词由「が」来提示，而适合这个主语的称呼应该是“谓主语”，因为由「が」提示的词不是句子或

作用，其词尾可附加「です」。

4 宾语

- 例：①新聞を読む。
②あなたは薬を飲みましたか。

宾语是谓语动词直接涉及的对象，由助词「を」提示。

5 宾语

- 例：①私は父に彼を紹介した。（他动词的间接对象）
②彼らは大きな困難にぶつかった。（自动词的对象）
③子どもは犬とたわむれていた。（同上）
④その仕事はあなたにふさわしくない。（形容词的对象）
⑤魚は猫に食べられてしまった。（被动动词的发动者）
⑥社長は秘書に事実を調べさせた。（使役动词的发动者）

如例句①所示，当谓语动词是他动词时，宾语是该动词的间接对象。如例句②③④所示，作为自动词和形容词的对象，宾语由助词「に」或「と」提示。另外如例句⑤⑥所示，在充当被动句和使役句中的事实上的动作实施者时，也由「に」提示。

6 补语

- 例：①彼は学生です。
②海は広い。
③のちに彼女は医者となった。
④街は安全になるでしょう。
⑤人々は彼を代表に選んだ。
⑥発電所の建設は外国の援助を必要とした。
⑦私は部屋を明るくした。

が

- a 就某个状态和动作进行叙述时，将其主体作为谓主语予以提示。
- b 表示从句的主语。

例：①花が咲く。(谓语句的主语)
②象は鼻が長い。(谓语句的主语)
③日が昇ると雨はやんだ。(从句的主语)

を

- a 表示宾语是动词的直接涉及对象。
- b 原功能为对对象的支配，也可以表示动作的起点及通过点等。

例：①音楽を聴く。(对象)
②難関を突破する。(支配)
③宿を確保する。(支配)
④家を出る。(起点、通过点)
⑤街を歩く。(起点、通过点)

に

- a 原功能表示动作和状态的实现点（「実現点」）。将自动词的对象及他动词的间接对象作为宾语予以提示。
- b 将被动句和使役句中的动作实施者作为宾语予以提示。
- c 提示补充说明主语或宾语的补语及对动词加以补充的补语，补足不完全动词。
- d 将形容词性名词副词化。

例：①バスに乗る。(自动词的对象)
②人に道をたずねる。(他动词的间接对象)
③父に叱られた。(被动句的动作实施者)
④子どもに行かせる。(使役句的动作实施者)
⑤液体が気体に変わる。(主语的补语)
⑥偶然が彼を市長にした。(宾语的补语)
⑦買い物に行く。(动词补语)
⑧食事に戻る。(动词补语)

“词”和“短语”被分别定义为“不可再分割的单一语言形式”和“由两个或两个以上的词构成的词群”。但要对两者进行严格的区别实属困难。例如“日本”“中国”等作为固有名词确实不能再分割，但如果考虑它们的构成来历则不能说其意义是单一的。又如「髪、頭髮、髪の毛、頭の髪の毛」，可以说意思相同并表示单一的概念，但作为词的形式却并非单一。

为此，在对短语进行界定时，较之意义与概念，本书更重视它们的语法构造，即本书把由不同词类构成的词群视为短语。不过像「最終ランナー、私立学校、走り回る」等由同一词类构成的词群和像「読みにくい、早すぎる、ものすごい」等源于不同词类但概念单一的词群，既可以看作是前一个词修饰后一个词的短语，也可以看作是单独的复合词。

基于上述观点，笔者将短语的形态分为两种：由修饰和被修饰关系构成的短语和因连接关系而形成的短语。

(1) 因修饰关系形成的短语

- 例：①国立病院（名词修饰名词）
 ②若い女性（形容词修饰名词）
 ③流れる川（动词修饰名词）
 ④遠いはるかな（形容词修饰形容词）
 ⑤たいへん美しい（副词修饰形容词）
 ⑥速く走る（副词修饰动词）
 ⑦深く静かに（副词修饰副词）
 ⑧もっとゆっくり（副词修饰副词）

- ※ 例句⑥中的「速く」和例句⑦中的「深く」是形容词，但因其在此起副词的作用，故本书将其视为副词化的形容词或副词。
- ※ 以往的语法中，将例句④中的「はるかな」和例句⑦中的「静かに」称为“形容动词”，但本书不采用该用语，而把「はるかな」称为“な形容词”或定语，把「静かに」称为“な形容词”的变化形或称副词或状语。
- ※ 例句④中的「遠いはるかな」是把“い形容词”和“な形容词”重叠在一起使用，这个时候一般多采用副词修饰形容词的形式，如「遠く はるかな山なみ」等。

例：私はそのころ流行った歌を憶えている。(修饰动词)
そのころ、私はまだピアノを習ってた。(修饰句子)
 祖母が元気だったころ、私は書道教室に通っていた。(修饰主句)

4 主句（「主節」）与从句（「従節」）

在一个句子里往往会有两个或两个以上的小句子，其中处于主要地位的句子称为主句（「主文、主節」），处于从属地位的句子称为从句（「従文、従属節、従節」）。但这种区别有时并不明确，或者没有必要加以区别。不过，从句中的谓语并不结句，而是以多种形式连接后项。在日语中一般从句在前，主句在后，即使主句的主语位于从句之前，其谓语也一定在从句之后，并以终止形结束句子。

从句的功能在于修饰主句，因此从句基本上都是副词性从句。从句与主句连接的形式有以下几种：

(1) 连用连接

例：① 兎は畑の間を走り、鳥は高い鳴き声を立てた。（“ます形”词干）
 ② 彼女は部屋を出て行って、私は一人残された。（て形）
 ③ 病院は遠く、交通の手段はない。（形容词的连用功能）
 ④ 父が帰ってきたらしく、母は急いで玄関に出て行った。（助动词的连用功能）

(2) 动词连体连接

例：① 私たちが車を降りたとき、その人は手を上げて近づいてきた。
 ② 天候がくずれたため、宇宙船の出発は延期された。
 ③ だれも入ってこないように、入り口は閉じられた。

※ 动词的连体功能将在下一节详细论述。

(3) 接续词连接

- 例：①日が昇ると雨はやんだ。
 ②私は駅で待っていたが、彼女は結局来なかった。
 ③今は時期が悪いからあなたは黙っていなさい。
 ④その話がほんとうだとすれば犯人は別にいることになる。

※ 有关接续词接续的例句，已在第三章第一节的第4小节“词语接续词”中列有多条。

— 第三节 —

动词的定语用法（「連体機能表現」）

动词的定语用法原本是用来构成名词性短语或名词性从句的，借用上节4-（2）的例子来说，例句①「私たちが車を降りたとき」中的「とき」、例句②「天候がくずれたため」中的「ため」和例句③「だれも入ってこないように」中的「よう」等均属这种情况。从句中的被修饰语相对于主句如果是作为名词使用时就是名词性短语或名词性从句，如被用作副词则成为副词性短语或副词性从句。另外，如「私たちが車を降りたときの光景」「だれも入ってこないような建物」所示，名词性短语和名词性从句与「の」和「な」等相连接时又会变成形容词性短语和形容词性从句。

这种定语用法虽然极其普遍，但当被修饰的名词失去或脱离了原来的意义而变成形式化的时候（称之为“形式名词”），它就可以与包含在从句中的动词一起发挥与助动词和接续词等连接词相类似的功能。下面请看例句。

名词性功能

こと

- 例：泣くことはないよ。（行为）
 北海道には行ったことがある。（行为）
 そういうことにしよう。（行为）

てみる

例：私が報告書を書いて見ましょう。（尝试）

ていく

例：日が沈んでいく。（状态等的由近及远的变化与移动）

てくる

例：海が見えてきた。（变化）（状态等的由远及近的变化与移动）
薬を買ってきます。（回归）

てしまう

例：街はさびれてしまった。（完了）

てやる／あげる

例：私が手伝ってやろう／あげよう。（施与）

てもらう／いただく

例：損害は弁償してもらいます／いただきます。（受益）

てくれる／くださる

例：私のいうことを理解してくれますか／くださいますか。
（受益）

ていい

例：もう帰って（も）いいです。（容忍）

ていけない

例：店を辞めてはいけません。（禁止）

てほしい

例：明日は朝の八時に集まってほしい。（希望）

- ※「てしまう」多带有遗憾和悔恨的语感。因为作为一个动词，「しまう」本身就带有类似的消极色彩。我们在遭受挫折时说的那句「しまった（失敗した）」正是源于「しまう」。
除此之外，还有「集めてまわる」「売ってあるく」等说法，但是否应该把它们作为“て形”的功能表达方式而特意提示，要看其作为惯用用法的固定程度和广泛程度而定。

解说（8）「ている」和「である」

「いる」和「ある」的基本区别在于：「いる、います」表示生物的存在；「ある、あります」表示非生物的存在。